

持続可能な社会に向けて

SDGs 目標2 飢餓をゼロに

長野県長野工業高等学校 情報工学科

羽生田 咲也 西澤 正喜

テーマ設定の理由

日本国内や世界で「飢餓」「低栄養」が起きています。

SDGs 2の目標として取り上げられていて、それらの深刻さや現状などを知ってもらい、自分たちでも行動できることをしてもらいたいと思ったから。



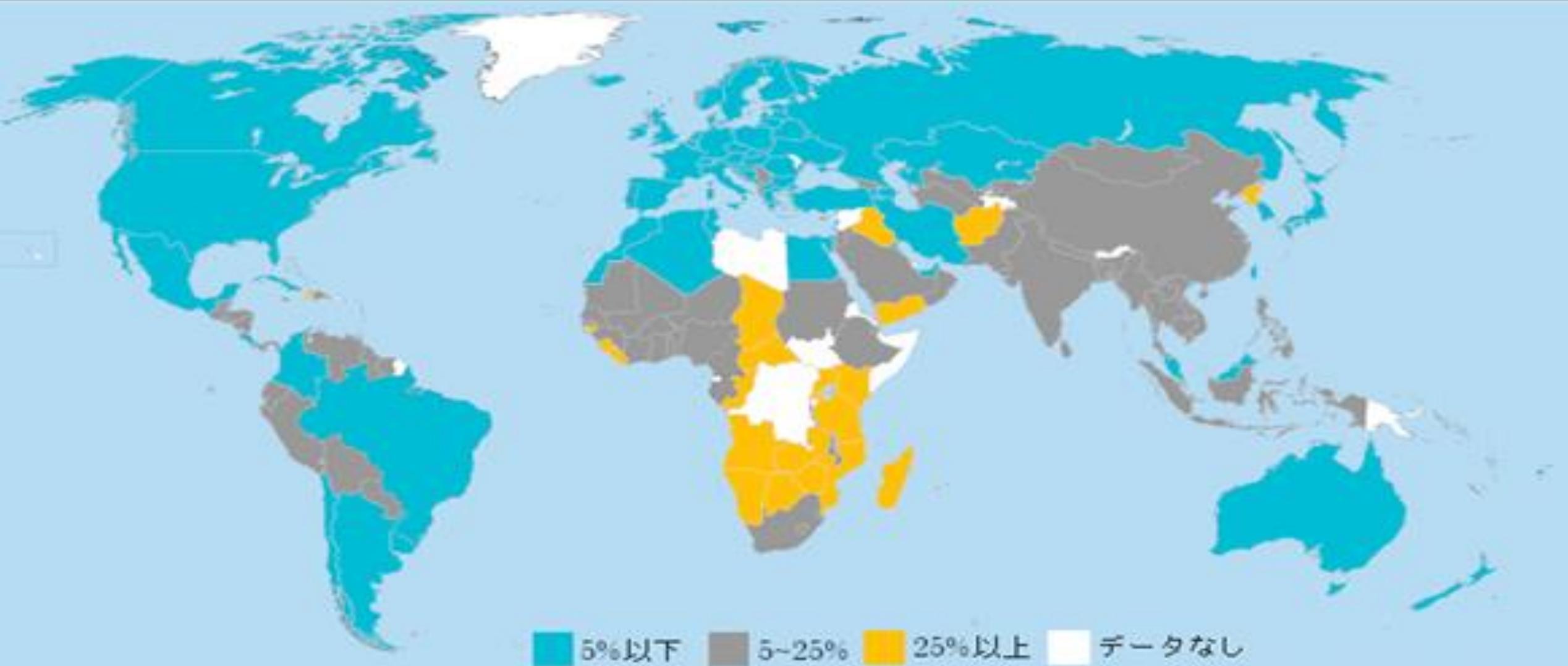
現状

- 世界の八億人以上の人々が飢餓に苦しむ
- 9人に一人が飢餓に苦しむ
- アフリカの飢餓蔓延率が世界で最も高い
- 飢餓人口が最も高いのはアジア

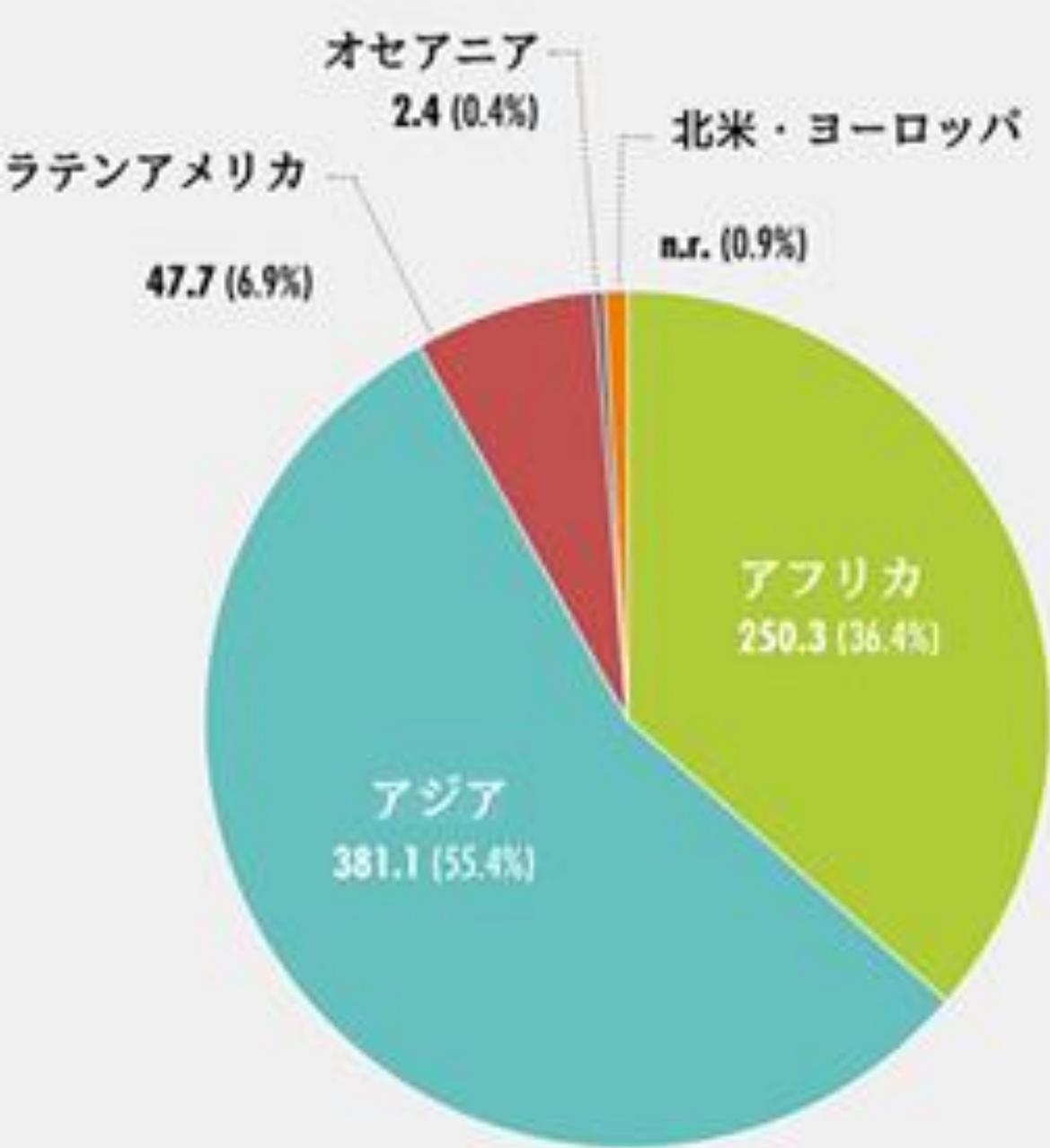
(世界の総人口 78億8000万人)



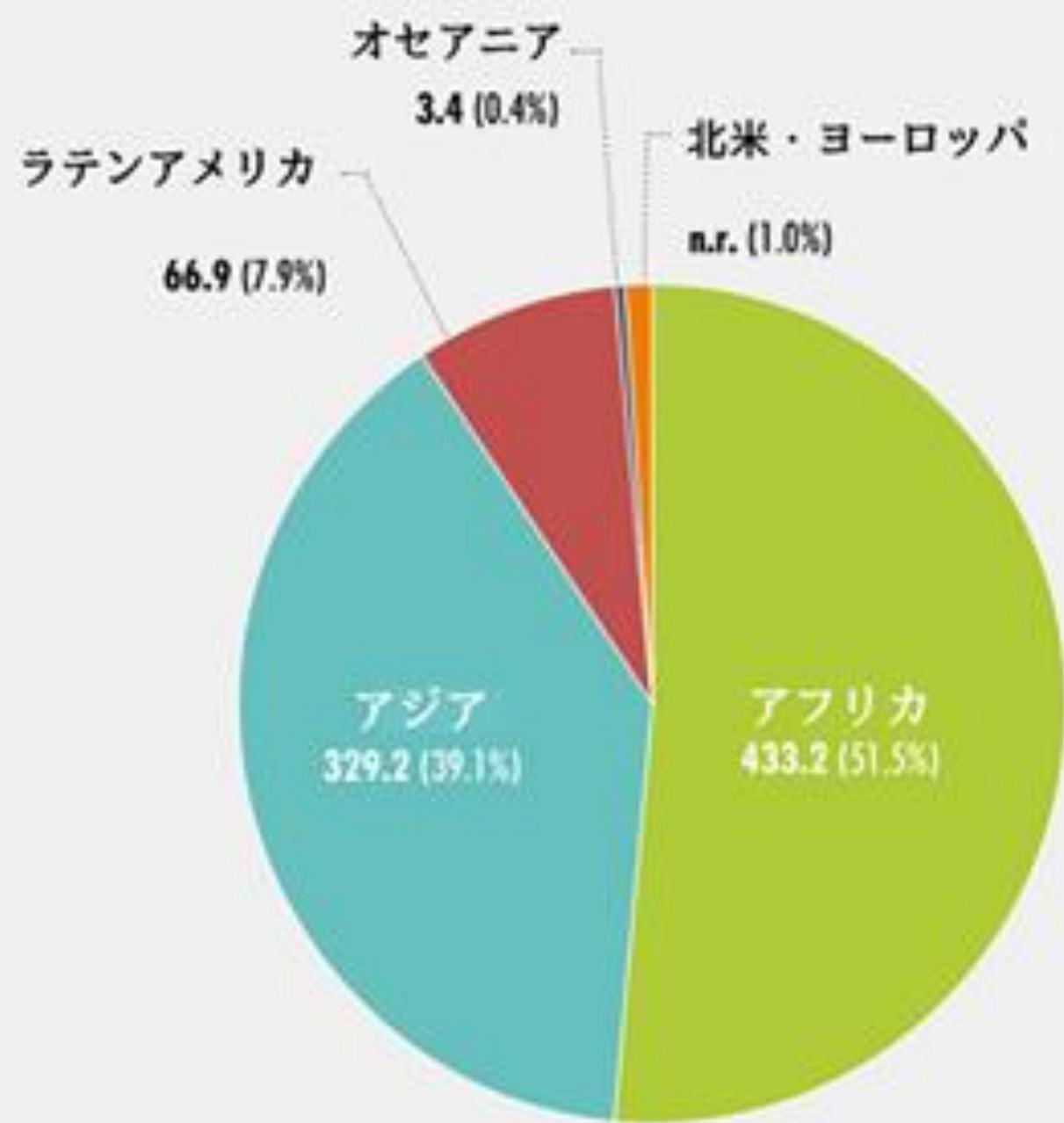
世界各国の栄養不良の蔓延率(2016~2018年)



(World Food Programのデータをもとに作成)



2019年：6億8780万人



2030年：8億4140万人

問題点

- 2030年までに世界の飢餓に終止符をうつのに年間2670億ドルが必要が必要
- 極端な気候による豊作・不作・地域紛争問題
- 国際的輸送ルート of インフラ問題
- 政治的動向



今後の課題

世界的な課題

- ・ 気候変動に対応できる作物の量産
- ・ 気候変動に対応するための環境整備
- ・ 他国との良好な関係を築く
- ・ 他国との輸送問題の改善

自分たちにできること

- ・ オーガニック食材を選ぶ
(化学合成農薬、化学合成肥料、あるいは遺伝子組み換え生物を使用せずに育てられた農産物)
- ・ 栄養を考えた食事をする

長野県では、こども食堂の実施などにより飢餓問題に取り組んでいる。

SDGs 実現のために～ 10代からの提言～

- 長野県の特産物などの生産量を増やして安定した輸送ルートを確認して、アフリカなどの飢餓に苦しむ人に分け与えてほしい。
- 子供食堂の増加や今長野県にある子供食堂の活性化が進むようなイベントなどをしてほしい。



皆さんも一度、世界の飢餓問題について考えて自分に出来ることは何か考えてみてはどうですか